

線形代数学・同演習 A

5月31日分 質問への回答

質問 今、教科書のどこをやっているか分からないから、教科書にあるならどこか教えてほしい

— 全てではありませんが、教科書の第1章を探せばいくつか見つかります。5月31日の講義は、今まで放置していて、後で使うものを紹介するというものでした。それに加えて、総和記号の使い方の復習を合わせて行ったわけです。これは、申し訳ないのですが、教科書には記述はされていません。

質問 中間頑張ります！

— 頑張ってください！

質問 対角成分と対角成分より上にある成分の中に0があるときでも上三角行列になりますか？

$$\begin{pmatrix} \circ & \circ & \circ & \circ \\ 0 & \circ & \circ & \circ \\ 0 & 0 & \circ & \circ \\ 0 & 0 & 0 & \circ \end{pmatrix} \quad \text{例えば} \quad \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 0 \\ 0 & 4 & 5 & 6 \\ 0 & 0 & 7 & 8 \\ 0 & 0 & 0 & 9 \end{pmatrix} \quad \text{は上三角行列ですか？}$$

— なります。元々の定義は、“対角成分よりも下にある成分がすべて0”ですので、対角成分よりも上にある成分については何も条件がありません。大げさな話、零行列や対角行列も上三角行列（と同時に下三角行列）です。

質問 ① 内積の定義って何ですか？

- 4次元以上だと角度が定義できるかわからないから $\|x\| \|y\| \cos \theta$ は変
- x を $1 \times n$ 型、 y を $n \times 1$ 型とすると $(x|y)$ の定義はできるが、 $x+y$ が定義できないから変。

② x と y が同じ次元なら $(x|y)$ はわかるけど、 Ax が y と同じ次元とは限らないから $(Ax|y)$ は簡単には定義できないのではないですか？

— 良い質問をありがとうございます。指摘の通り、内積は同じ次元のときに限って定義され、それは $(x|y) = x_1 y_1 + \cdots + x_n y_n$ ($x, y \in \mathbb{R}^n$) で与えられます。ですので、講義の証明においては、 A は正方行列であると仮定しておくべきでした。因みに、 k 次元の数ベクトル空間 \mathbb{R}^k の内積を $(\cdot|\cdot)_k$ と書くことにすれば、 $m \times n$ 行列 A に対して、

$$(Ax|y)_m = (x|^t A y)_n \quad (x \in \mathbb{R}^n, y \in \mathbb{R}^m)$$

が成り立ちます（証明は講義のものと全く同様）。

質問 なんちゃ中間テストは、そーとがんばるばい!!

— なんちゃ...?

質問 ちばりよります。

— ちばり...?

質問 テスト てげ頑張ります。

— 頑張ってください。

質問 ブラックモンブラン派ですか、ミルクック派ですか、トラキチ君派ですか。

— ブラックモンブラン以外あまり食べませんね。因みに、モンブランはフランスの山 Mont Blanc のことで、“白い山” という意味です。つまり、ブラックモンブランとは...

質問 書き終わった黒板は上にしてくれると助かります。

— 次回から気をつけようと思います。

質問 しょーみテスト頑張んで! (大阪 ver.)

— 正味って言葉、こちらではあまり使いませんね。

質問 テストぶちがんばるけえの～。

— 広島?

質問 しょーみ，満点とります!!

ところで $\left(\begin{array}{c|cc} a & b & c \\ \hline d & e & f \\ \hline g & h & i \end{array} \right)$ こんな分割はなしですね?

— 計算ミスに注意です。

積をうまく扱えないので，そういった形に分割することは滅多にないと思います。少なくとも，そのような分割で何かしらの意味のあるものは，今まで見たことはありません。

質問 4/19・演習問題の 8 番の解説でなぜ $a \cdot d_{\frac{a}{\|a\|}} = 1$ となるのかが分からない。

— 平面の方程式 $ax + by + cz = 1$ を，内積を使って書けば $(a|x) = 1 \cdots \textcircled{1}$ となることを利用しています。今，点 $d_{\frac{a}{\|a\|}}$ がその平面上にあるので， $\textcircled{1}$ の x にこのベクトルを代入すれば，その式が得られます。4 月 26 日分演習問題の 4 番についての簡単な補足も参考になるかと思います。